

[第 161 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

2025 年 4 月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 2025 年 5 月 10 日 (土) 15時～17 時 (今回は第 2 土曜日)
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.217～
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

2025 年 4 月 5 日(土)、安曇川公民館で第 160 回藤樹人間学塾を開きました。大津から 5 名を入れて 12 名(うち女性 5 名)の参加でした。初参加 1 名。

■ テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』(中公バックス日本名著)

■ テキストの見出し

「集義和書」書簡の 3 百姓の清福、無欲と吝嗇、を輪読し、資料も説明しました。

■ 配布資料

(1)「まなざし 479 号」、(2)顔回と傑・紂、(3)二宮尊徳の報徳思想、(4)『斎藤一人の自分を生きる極意』「お金」、「仕事」がもたらす幸せ、(5)『山崎弁栄 光明主義講話』「心の住家」、等。

■ 今日のポイント

- ・ 百姓の清福…堯・舜(徳のある君主)の民は貧しくはあるが乏しいことはない。無病息災なら清福ではないか。徳のない富貴は浮いている雲のようなものである。
- ・ 無欲と吝嗇…無欲とは、道を修めて身の作法が正しく、家内をよく治め、人馬を用意し、領内の税をほどほどにし、文武の芸に暗くなく、世間の驕りに心を動かされないような人。
- ・ 豊かさと言貧しさを分けるのは心…心が愛で満たされている人は、その人に必要なものは、仲間でもお金でもすべてもたらされる。(斎藤一人)
- ・ 心の住家…人から「あなたの心の住家は」と聞かれたら、何と答えますか。からだの家はあるが、心の家はまだないと答えねばならないようでは、たとえ豪邸に住んでいても、心は三界流浪の哀れむべき者である。(山崎弁栄師)

■ フリートーキング

- ・ 「今はまだ現役だが、仕事を辞めた後心豊かな生活をしていけるかを模索している。来客の接待に心がこもっているか等自問」
- ・ 「分度を守るを心がけている。社会貢献もできるだけ行っている。子供の見守りなど」
- ・ 「学んだことを話すと定着する。私心がないか、本当に相手のことを思っているか、考えてやるとよい結果が得られる」
- ・ 「心の住家。藤樹先生は良知という心の住家に到ることを考えられ、身も母のもとに帰られた」
- ・ 「心の住家の話が心に響いた。斎藤一人さんがお金を払うときにお金にお礼を言うこと、税金を払うときに、このお金で世の中が便利になると思って気前よく払うのに驚いた」

などの意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！難しいところも資料を用意して分かりやすく解説します。人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

